

平成30年4月

会員各位

一般社団法人 日本船舶電装協会

平成30年度 船舶電気装備技術者講習及び検定試験のご案内について

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平成30年度の初級（船舶電装士）、中級（主任船舶電装士）、上級（船舶電装管理者）、航海用レーダー等（航海用レーダー整備士）及び無線設備（航海用無線設備整備士）の各講習及び検定試験を「平成30年度 講習・検定試験募集案内」の要領により実施いたします。

この講習及び検定試験による資格の取得は、各運輸局等が証明を行う船舶電気艙装工事事業場、レーダー等装備・整備事業場及びGMDSS設備サービス・ステーションになるための要件となっております。

また、一般財団法人日本海事協会及び日本小型船舶検査機構におかれましては船舶検査の合理化の面から、海上保安庁及び独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構におかれましては、所有船・共有船の建造・修繕工事の業者選定に際して、工事の質を向上させる面から当協会の資格制度をご活用いただいているほか、一般工事においても受注要件となる場合があります。

船舶電気艙装工事事業場、レーダー等装備・整備事業場及びGMDSS設備サービス・ステーションの各制度の果たす役割を十分ご活用いただくためにも、貴社従業員が本講習及び検定試験に多数ご応募されますようお願いいたします。

敬 具

講習申込締切日：平成30年5月31日（木）必着

【事業主の皆様へ】

一部の受講者に学習態度が消極的なケースが見受けられます。
事業主から受講、受験の目的や効果を正しく伝えて、諦めることなく頑張るよう指導して下さい。
事業主から期待されることは、本人のやる気の向上につながります。

次の点にご注意下さい！

1. 決められた提出期日を守るように指導して下さい。

- ・添削問題の解答提出期日を守る。
- ・不明な点などがある場合には、遠慮なく協会の指導技師に質問するよう指導して下さい。

2. 実技試験の指導を十分に行って下さい。

- ・がい装電線の端末処理、工具の取り扱いは電装工事の基本です。

3. 主任船舶電装士も実技試験を行います。

- ・船舶電装士の資格を持たずに主任船舶電装士を受験する場合は、実技試験を受けていただきます。なお、第1種電気工事士(国家資格)、第2種電気工事士(国家資格)の資格を保有している方は免除されます。

<学習コーナーのお知らせ>

検定試験の前日午後に試験会場の一室にて、受験者の勉強の場として学習コーナーを設けました。
学習コーナーは事前に申し込む必要もなく、受験者なら誰でも自由に利用できます。
協会の指導技師が待機していますので、分からない点を質問することも出来ます。

※学習コーナーは、検定試験の内容を教えるものではありません。

平成30年度 船舶電気装備技術者講習・検定試験募集案内

一般社団法人 日本船舶電装協会

1. 講習と検定試験の種類

本協会が行う講習及び検定試験には以下の種類があります。

会員事業場に所属する方は、対応する講習を修了することで、検定試験を受験することができ、合格すると本協会の資格を取得することができます。

| 講習の種類 | 検定試験の種類 |
|------------|------------|
| 初級講習 | 船舶電装士 |
| 中級講習 | 主任船舶電装士 |
| 上級講習 | 船舶電装管理者 |
| 航海用レーダー等講習 | 航海用レーダー整備士 |
| 無線設備講習 | 航海用無線設備整備士 |

※複数の受講・受験も可能です。

2. 講習について

(1) 対象者（受講できる方）

別項『受講・受験資格について』（4ページを参照）に種類別に定める条件に該当する方。

(2) 講習のあらまし

講習は、通信講習（添削指導）により行います。

受講申込書の受理後、事業場宛てに指導書をお送りいたします。

受講される皆さんは指導書で勉強し、同封している添削問題に解答を記入して、提出期日までに当協会に提出して下さい。

* 提出期日は、添削問題に記載されています。提出していただいた添削問題は、当協会の指導技師が添削と採点を行った後、標準解答を添付して事業場を通じて受講者にお返しいたします。

(3) 指導書の種類と送付開始時期

◎初級講習指導書（下記の4冊） 6月下旬より送付

| | |
|-----------|----------|
| ・電気装備概論編 | ・電気艀装工事編 |
| ・電気工学の基礎編 | ・電気機器編 |

◎中級講習指導書（下記の4冊） 6月下旬より送付

| | |
|------------|----------|
| ・電気装備技術基準編 | ・電気艀装設計編 |
| ・電気計算編 | ・試験・検査編 |

◎上級講習指導書（下記の4冊） 6月下旬より送付

| | |
|------------------|-------------|
| ・電装生産管理編 | ・自動制御と遠隔制御編 |
| ・SOLAS条約と国内関連法規編 | ・高圧電気設備編 |

◎航海用レーダー等講習指導書（下記の4冊） 6月下旬より送付

| | |
|----------|---------------|
| ・基礎理論編 | ・装備艤装工事編 |
| ・機器保守整備編 | ・AIS・VDR・GPS編 |

◎無線設備講習指導書（下記の3冊） 6月下旬より送付

| | |
|--------|--------------|
| ・基礎理論編 | ・艤装工事及び保守整備編 |
| ・法規編 | |

(4) 講習（添削指導）期間

平成30年6月下旬～9月上旬

(5) 受講票の交付

受講票は、指導書と一緒に交付いたします。この受講票は検定試験の際に提示していただきますので大切に保管して下さい。

3. 検定試験について

(1) 対象者（受験できる方）

当協会の会員事業場に所属する方で、別項『受講・受験資格について』に種類別に定める条件に該当する方で、対応する講習を修了しているか本年度に修了する見込みの方。

* 非会員の方は検定試験を申し込むことができません。

(2) 検定試験の内容

検定試験の種類に応じ、下の表の内容の試験を行います。

| 検定試験の種類 | 筆記試験 | 実技試験(*) | 口述試験 |
|------------|------|---------|------|
| 船舶電装士 | ○ | ○ | ○ |
| 主任船舶電装士 | ○ | △ | ○ |
| 船舶電装管理者 | ○ | | ○ |
| 航海用レーダー整備士 | ○ | | ○ |
| 航海用無線設備整備士 | ○ | | ○ |

* 実技試験については、別項『実技試験について』（7ページ）をご参照下さい。

(△注) 主任船舶電装士検定試験における実技試験は、船舶電装士又は第1種電気工事士（国家資格）若しくは第2種電気工事士（国家資格）を保有している方は免除されます。

(3) 検定試験の日程

下記の場合にて各1日で実施する予定です。

| 実施場所（予定） | 実施時期（予定） |
|----------------------|----------|
| 札幌、仙台、東京、大阪、広島、高松、福岡 | 10月～11月 |

* 上記の実施場所は、受験者の人数により変更する場合がありますので、ご了承下さい。また、検定試験の日程・会場については、9月上旬に所属する事業場を通じてご案内いたします。

4. 申し込み方法

検定試験の同時申し込みも受け付けます。

本年度に検定試験を受験する予定の方は、なるべく同時にお申し込み下さい。

(1) 申し込み方法

必要書類一式を当協会宛てに郵送または直接持ち込み

申し込みに必要な書類

- 受講申込書（兼 検定試験受験願書）＊ 様式1.1～1.5

講習種類別の申込書『受講申込書（兼 検定試験願書）』をご利用下さい。

検定試験のみ申し込む場合は『船舶電気装備技術資格者検定試験 受験願書』（様式2.1）をご利用下さい。受講・受験者が複数の場合には、コピーしてご利用下さい。

＊ 記載方法をよく読んでご記入下さい。

- 顔写真

大きさ、枚数については、記載方法をご参照下さい。

- 各種証明書のコピー（A4版）

受講・受験資格の軽減措置を受ける方は、関連する証明書や免状のコピー（A4版）を添えてください。

(2) 申込期日

締切日 平成30年5月31日（木） 必着

ご案内（当文書）送付後、随時受付いたします。

(3) 受講料及び受験料

- ① 受講料（及び受験料）全種類共通（消費税込み）

| | 受講料 1件につき | 受験料 1件につき |
|-------------|-----------|-----------|
| 会員事業場に所属する方 | 12,300円 | 5,100円 |
| 非会員の方 | 24,700円 | 申し込み不可 |

- ② 受講料（及び受験料）の払込み方法

申込書と一緒に「現金書留」で送付していただくか、申込書を送付した後に「銀行振込」又は「郵便振替」によりご送金ください。

振込等によりご送金いただく場合は、申込書にご送金予定日をご記入願います。

振込先 口座名 **一般社団法人 日本船舶電装協会**

シャ)ニホンセンパクデンソウキョウカイ

| | | | |
|---------|-------|------|---------|
| 三菱UFJ銀行 | 本店 | 普通預金 | 7644207 |
| 三井住友銀行 | 東京公務部 | 普通預金 | 389180 |
| みずほ銀行 | 虎ノ門支店 | 普通預金 | 1965512 |

郵便振替 00150-6-144764

＊ 振込手数料は貴社にてご負担願います。

(4) 申込書の送付先

〒 105-0001

東京都港区虎ノ門1丁目11番2号

日本財団第二ビル 5階

一般社団法人 日本船舶電装協会 技術部

電話：03-3504-0858 FAX：03-3504-0856

受講・受験資格について

以下の講習・検定試験の種類別に定められた条件に該当する方が受講・受験できます。
講習の申し込みと同時に、対応する検定試験の申し込みをすることができます。非会員の方も受講できますが、検定試験については非会員の方は受験することができません。

初級講習及び船舶電装士検定試験

下表に該当する学歴での経験年数を満たす方。
検定試験については、初級講習を修了又は修了見込みであること。

| 学歴 | 経験年数 |
|---------------|------|
| 工業高校の電気専門課程卒業 | 1年以上 |
| 普通高校卒業 | 2年以上 |
| 中学校卒業 | 3年以上 |

- * 工業高校の電気専門課程の範囲には、専修学校の電気工事科及び職業訓練校の電気機器科、電気工事科、発電電科又は送配電科が含まれます。
- * 普通高校の範囲には、工業高校電気専門課程以外のすべての高校、学科が含まれます。また、大学及び工業高等専門学校の電気専門課程以外のすべての学科が含まれます。
- * 経験年数とは船舶電装工事の経験年数で、当該年（平成30年度）を含んでいます。

【軽減措置】

下の表に該当する方の経験年数は下表のとおりです。

| | |
|-------------|------|
| 所有している他の資格 | 経験年数 |
| 電気工事士（国家資格） | 1年 |

中級講習及び主任船舶電装士検定試験

下の表に該当する学歴及び資格での経験年数を満たす方。
検定試験については、中級講習を修了又は修了見込みであること。

| 学歴又は資格 | 経験年数 |
|-------------------|------|
| 大学（工）の電気専門課程卒業 | 1年以上 |
| 工業高等専門学校の電気専門課程卒業 | 2年以上 |
| 船舶電装士 | 2年以上 |

- * 工業高等専門学校の電気専門課程の範囲には、短期大学の電気専門課程、専修学校の電気工学科及び職業訓練短大の電気科が含まれます。
- * 経験年数とは船舶電装工事の経験年数で、当該年（平成30年度）を含んでいます。

【軽減措置】

下の表に該当する方の経験年数は下表のとおりです。

| 学歴又は資格 | 所有している他の資格又は経験年数 | 経験年数 |
|------------------------------|--------------------------|------|
| 船舶電装士を保有又は、工業高等専門学校の電気専門課程卒業 | 第3種・第2種・第1種電気主任技術者（国家資格） | 1年 |
| 船舶電装士 | 船舶電気装備工事の経験年数10年以上 | 1年 |

上級講習及び船舶電装管理者検定試験

下の表に該当する資格での監督業務経験年数を満たす方。
検定試験については、上級講習を修了又は修了見込みであること。

| 資 格 | 監督業務経験年数 |
|---------|------------------|
| 主任船舶電装士 | 左記の資格を取得してから4年以上 |

- * 監督業務とは、船舶電気装備に関する業務（設計、工事（整備及び修理を含む）及び自主検査をいう）に従事する人員を直接監督する者のうちから、当該業務に対して責任を有する者として選任された者であって、少なくとも課長又はそれと同等以上の職責を有する者をいいます。
- * 経験年数は当該年（平成30年度）を含んでいます。

【軽減措置】

下の表に該当する方の経験年数は下表のとおりです。

| 所有している他の資格 | 経験年数 |
|------------------|------|
| 第3種電気主任技術者（国家資格） | 3年 |
| 第2種電気主任技術者（国家資格） | 2年 |
| 第1種電気主任技術者（国家資格） | 2年 |

航海用レーダー等講習及び航海用レーダー整備士検定試験

下の表に該当する学歴での経験年数を満たす方。
検定試験については、航海用レーダー等講習を修了又は修了見込みであること。

| 学歴 | 経験年数 |
|-------------------------|------|
| 大学（工）の電子・電気専門課程卒業 | 1年以上 |
| 工業高等専門学校 of 電子・電気専門課程卒業 | 2年以上 |
| 工業高校の電子・電気専門課程卒業 | 3年以上 |
| 普通高校卒業 | 4年以上 |
| 中学校卒業 | 5年以上 |

- * 工業高等専門学校の電子・電気専門課程の範囲には、短期大学の電子・電気専門課程、専修学校の電子・電気工学科又は無線通信科及び職業訓練短大の電子・電気科が含まれます。
- * 工業高校の電子・電気専門課程の範囲には、職業訓練校の電子機器科が含まれます。
- * 普通高校の範囲には、工業高校、工業高等専門学校及び大学の電子・電気専門課程以外のすべての学科が含まれます。
- * 経験年数とはレーダー等整備工事の経験年数で、当該年（平成30年度）を含んでいます。

【軽減措置】

下の表に該当する方の経験年数は下表のとおりです。

| 所有している他の資格 | 経験年数 |
|-----------------|------|
| 第1級陸上無線技術士（電波法） | 1年 |
| 第1級総合無線通信士（電波法） | 2年 |
| 第1級海上無線通信士（電波法） | 2年 |
| 第2級総合無線通信士（電波法） | 2年 |
| 第2級海上無線通信士（電波法） | 2年 |
| 第2級陸上無線技術士（電波法） | 2年 |
| 第3級総合無線通信士（電波法） | 2年 |
| 第3級海上無線通信士（電波法） | 3年 |
| 第4級海上無線通信士（電波法） | 3年 |

無線設備講習及び航海用無線設備整備士検定試験

下の表に該当する学歴での経験年数を満たす方。

検定試験については、無線設備講習を修了又は修了見込みであること。

| 学歴 | 経験年数 |
|-------------------------|------|
| 大学（工）の電子・電気専門課程卒業 | 1年以上 |
| 工業高等専門学校 of 電子・電気専門課程卒業 | 2年以上 |
| 工業高校の電子・電気専門課程卒業 | 3年以上 |
| 普通高校卒業 | 4年以上 |
| 中学校卒業 | 5年以上 |

- * 工業高等専門学校の電子・電気専門課程の範囲には、短期大学の電子・電気専門課程、専修学校の電子・電気工学科又は無線通信科及び職業訓練短大の電子・電気科が含まれます。
- * 工業高校の電子・電気専門課程の範囲には、職業訓練校の電子機器科が含まれます。
- * 普通高校の範囲には、工業高校、工業高等専門学校及び大学の電子・電気専門課程以外のすべての学科が含まれます。
- * 経験年数とは無線設備整備工事の経験年数で、当該年（平成30年度）を含んでいます。

【軽減措置】

下の表に該当する方の経験年数は下表のとおりです。

| 所有している他の資格 | 経験年数 |
|-----------------|------|
| 第1級陸上無線技術士（電波法） | 1年 |
| 第1級総合無線通信士（電波法） | 2年 |
| 第1級海上無線通信士（電波法） | 2年 |
| 第2級総合無線通信士（電波法） | 2年 |
| 第2級海上無線通信士（電波法） | 2年 |
| 第2級陸上無線技術士（電波法） | 2年 |
| 第3級総合無線通信士（電波法） | 2年 |
| 第3級海上無線通信士（電波法） | 3年 |
| 第4級海上無線通信士（電波法） | 3年 |

実技試験について

船舶電装士・主任船舶電装士の検定試験で行われる実技試験の問題は下記のとおりです。

下図のように、ケーブル（TPYC-2.5）を圧着端子により、防水形小型接続箱に接続する次の一連の実技作業を「基本に忠実に」行うことをチェックする、即ち

（１）線端処理

がい装を適当な位置で除去し、ほつれ止めを施しているか
シースを傷つけないように適当な位置で除去しているか
絶縁物を傷つけないように除去しているか
導体の心線出し、その保護に注意しているか
圧着端子を確実に取り付けているか

（２）線端識別表示

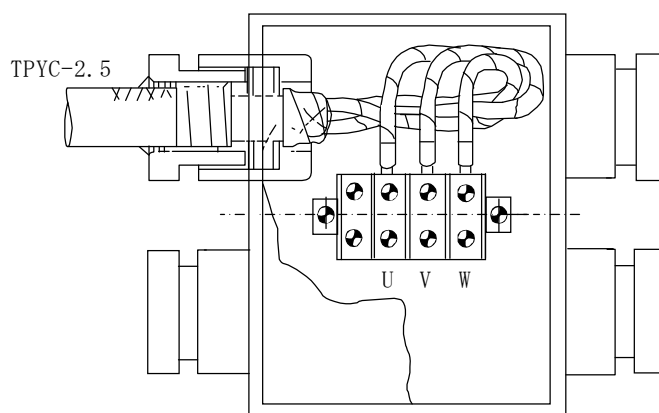
JEM規定に従って、線端識別のための色別テーピングを行っているか

（３）ケーブルを接続箱内に導入する

上下の結線空間の一番遠い端子に接続できる十分な長さとしているか
ケーブルに適合するガスケット及び座金を選定しているか
端子に確実に結線しているか
予備端子を締め付けているか

（４）電線貫通金物導入部の防水処理

電線が抜けないように適切に締め付けグランドを締め付けているか
ガスケットが電線のシースの上で締め付けられているか



作業時間 30分以内（1本のケーブルを導入する場合の所用時間）

様式 1.1

※ 受講番号

※ 受験番号

| 初級（電装士）講習 受講申込書（兼 検定試験受験願書） | | | | | | |
|--|-----------------------|---|------|----------|---------------------|-----------------------|
| 平成 年 月 日 | | | | | | |
| 申 込 者 | ふりがな | | 生年月日 | 年 月 日 | | |
| | 本人氏名 | 印 | 役職名 | | | |
| | (所属事業場名) | | | | | |
| | (代表者氏名) | 印 | | | | |
| | (所在地) | | | | | |
| | (連絡担当者) | (電話番号) | | | | |
| 技能手帳の有無・手帳番号 | | 有（手帳番号 S）・無 | | | | |
| 学 歴 | 卒業学校名 | 学 部 | 学 科 | 卒業年月 | | |
| | | | | 年 月 | | |
| 陸上電気関係の保有資格の名称 | | | | 取得年月 年 月 | | |
| 船舶電気装備工事の通算経験年数 | | (平成31年4月1日現在) 年 | | | | |
| 【会員のみのみ】 同時に検定試験も申し込む方は、下記 □に○印を付け、受験希望地をご記入下さい。 | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 船舶電装士検定試験を申し込む | | | | | | |
| 受験希望地 (一ヶ所を○で囲んで下さい) | | 札幌 ・ 仙台 ・ 東京 ・ 大阪 ・ 広島 ・ 高松 ・ 福岡 | | | | |
| 顔写真貼付欄 (非会員は貼付不要) ・ 申込み前6ヶ月以内に上半身・正面・脱帽にて撮影したもの（縦4cm・横3cm） ・ 写真の裏面に氏名を記入して下さい | | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;"> 上端のりづけ [講習用] </td> <td style="width: 50%; text-align: center;"> 上端のりづけ [検定試験用] </td> </tr> </table> | | | 上端のりづけ [講習用] | 上端のりづけ [検定試験用] |
| 上端のりづけ [講習用] | 上端のりづけ [検定試験用] | | | | | |
| | | ※ 顔写真は講習用・検定試験用に各1枚（計2枚）を貼付して下さい。 | | | | |
| 受講料及び受験料 (金額は消費税込み) | | 受講のみの方 : 12,300円 (非会員は24,700円) 受講及び検定試験の方 : 17,400円 別途送金の場合 : 送金予定日 月 日 (銀行振込・郵便振替) | | | | |

この「申込書」にご記入いただいた個人情報は厳重に管理取扱いを行い、船舶電気装備技術者の資格の運用に関する用途以外には一切使用いたしません。

記載要領

- (1) 「本人氏名」「ふりがな」欄には、受講・受験者本人の氏名を記入し、押印をして下さい。
- (2) 「生年月日」欄には、和暦（昭和・平成）の年月日を記入して下さい。
- (3) 「役職名」欄には、申込日現在の本人の役職名を記入して下さい。
- (4) 「所属事業場名」欄は、本人が所属している事業場の名称（会社名・必要に応じて支店営業所名）を記入して下さい。これが本人が資格を取得した際の所属事業場となりますから、複数の支店営業所等がある場合には特に注意して記入して下さい。
- (5) 「代表者名」欄は、所属事業場の代表者もしくは責任者の役職名と氏名を記入し、押印をして下さい。
- (6) 「所在地」欄には、所属事業場の所在地を都道府県名から記入して下さい。
- (7) 「連絡担当者」欄には、この申し込みについて回答できる人の氏名を記入して下さい。
- (8) 「電話番号」欄には、連絡担当者の電話番号を市外局番から記入し、必要に応じて内線番号等を記入して下さい。
- (9) 「技能手帳の有無・手帳番号」欄には、技能手帳の有無（本人が過去に当協会の技能手帳を交付されているかどうか）を○で囲み、[有]の場合は技能手帳の番号（技能手帳に記載されている『S』で始まる番号）を記入して下さい。
- (10) 「学歴」欄には、原則として最終学歴（卒業学校名・学部名・学科名・卒業年月）を記入して下さい。
受講・受験資格に必要な経験年数の算定に係る学歴が別にある場合には、その学歴も記入して下さい。詳細は募集案内の[受講・受験資格について]を参照して下さい。
例：最終学歴は『大学の文系学部卒業』だが高等学校が『工業高校電気科卒業』である場合は、両方とも記入して下さい。
- (11) 「陸上電気関係の保有資格の名称」欄には、保有している陸上電気関係の資格の名称と、取得年月を記入して下さい。詳細は募集案内の[受講・受験資格について]を参照して下さい。
- (12) 「船舶電気装備工事の通算経験年数」欄には、当該年（平成30年度）を含んだ船舶電気装備工事の経験年数を記入して下さい。

検定試験も同時に申し込む場合

※ 検定試験は、会員の事業場に所属する方だけが申し込むことができます。

- (13) 「船舶電装士検定試験を申し込む」欄に○印をつけて下さい。
- (14) 「受験希望地」欄に記載されている実施予定地のうち、1つを選んで○で囲んで下さい。

顔写真について

※ 非会員は顔写真を貼付する必要はありません。

- (A) 枚数について
顔写真は、講習用に1枚・検定試験用に1枚（検定試験を申し込む場合のみ）の合計2枚が必要です。
本年度に他の種類の講習や検定試験を申し込む場合、講習や検定試験の種類ごとに顔写真を用意する必要はありません。必要な顔写真の枚数は、1人につき最多で2枚です。
- (B) 写真について
上半身・正面・脱帽にて撮影したものを使用して下さい。スピード写真可、白黒・カラーは不問です。
撮影画像をプリンター等で印刷したものをを使用する場合は、紙の厚さが0.1ミリ以下のものは避け、なるべく写真専用の光沢用紙を使用して下さい。
- (C) その他
顔写真は、所定の大きさ（縦4cm、横3cm）に切り揃えて、貼り付ける前に裏面に本人氏名を記入して下さい。
「顔写真貼付欄」の所定の箇所にのりづけします。のりは写真の上端にだけ付けて下さい。

| 中級（主任）講習 受講申込書（兼 検定試験受験願書） | | | | |
|--|----------|--|--------------------------|---------------|
| 平成 年 月 日 | | | | |
| 申 込 者 | ふりがな | | 生年月日 | 年 月 日 |
| | 本人氏名 | 印 | 役職名 | |
| | (所属事業場名) | | | |
| | (代表者名) | 印 | | |
| | (所在地) | | | |
| | (連絡担当者) | (電話番号) | | |
| 技能手帳の有無・手帳番号 | | 有（手帳番号 S）・無 | | |
| 学 歴 | 卒業学校名 | 学 部 | 学 科 | 卒業年月 |
| | | | | 年 月 |
| 陸上電気関係の保有資格の名称 | | | | 取得年月 年 月 |
| 船舶電気装備工事の通算経験年数 | | （平成31年4月1日現在） 年 | | |
| 船舶電装士の取得年月 | | 年 月 | 船舶電装士取得後の 電気装備工事の経験年数 | （4月1日現在） 年 |
| [会員のみのみ] 同時に検定試験も申し込む方は、下記 □に○印を付け、受験希望地をご記入下さい。 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 主任船舶電装士検定試験を申し込む | | | | |
| 受験希望地 （一ヶ所を○で囲んで下さい） | | 札幌 ・ 仙台 ・ 東京 ・ 大阪 ・ 広島 ・ 高松 ・ 福岡 | | |
| 顔写真貼付欄 （非会員は貼付不要） | | <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; text-align: center;"> 上端のりづけ [講習用] </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; text-align: center;"> 上端のりづけ [検定試験用] </div> </div> | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 申込み前6ヶ月以内に上半身・正面・脱帽にて撮影したもの（縦4cm・横3cm） ・ 写真の裏面に氏名を記入して下さい | | ※ 顔写真は講習用・検定試験用に各1枚（計2枚）を貼付して下さい。 | | |
| 受講料及び受験料 （金額は消費税込み） | | 受講のみの方 ： 12,300円（非会員は24,700円） 受講及び検定試験の方 ： 17,400円 別途送金の場合： 送金予定日 月 日（銀行振込・郵便振替） | | |

この「申込書」にご記入いただいた個人情報は厳重に管理取扱いを行い、船舶電気装備技術者の資格の運用に関する用途以外には一切使用いたしません。

記載要領

- (1) 「本人氏名」「ふりがな」欄には、受講・受験者本人の氏名を記入し、押印をして下さい。
- (2) 「生年月日」欄には、和暦（昭和・平成）の年月日を記入して下さい。
- (3) 「役職名」欄には、申込日現在の本人の役職名を記入して下さい。
- (4) 「所属事業場名」欄は、本人が所属している事業場の名称（会社名・必要に応じて支店営業所名）を記入して下さい。これが本人が資格を取得した際の所属事業場となりますから、複数の支店営業所等がある場合には特に注意して記入して下さい。
- (5) 「代表者名」欄は、所属事業場の代表者もしくは責任者の役職名と氏名を記入し、押印をして下さい。
- (6) 「所在地」欄には、所属事業場の所在地を都道府県名から記入して下さい。
- (7) 「連絡担当者」欄には、この申し込みについて回答できる人の氏名を記入して下さい。
- (8) 「電話番号」欄には、連絡担当者の電話番号を市外局番から記入し、必要に応じて内線番号等を記入して下さい。
- (9) 「技能手帳の有無・手帳番号」欄には、技能手帳の有無（本人が過去に当協会の技能手帳を交付されているかどうか）を○で囲み、[有]の場合は技能手帳の番号（技能手帳に記載されている『S』で始まる番号）を記入して下さい。
- (10) 「学歴」欄には、原則として最終学歴（卒業学校名・学部名・学科名・卒業年月）を記入して下さい。
受講・受験資格に必要な経験年数の算定に係る学歴が別にある場合には、その学歴も記入して下さい。詳細は募集案内の[受講・受験資格について]を参照して下さい。
例：最終学歴は『大学の文系学部卒業』だが高等学校が『工業高校電気科卒業』である場合は、両方とも記入して下さい。
- (11) 「陸上電気関係の保有資格の名称」欄には、保有している陸上電気関係の資格の名称と、取得年月を記入して下さい。詳細は募集案内の[受講・受験資格について]を参照して下さい。
- (12) 「船舶電気装備工事の通算経験年数」欄には、当該年（平成30年度）を含んだ船舶電気装備工事の経験年数を記入して下さい。
- (13) 「船舶電装士の取得年月」欄には、資格を取得した年月を、「船舶電装士取得後の経験年数」欄には、その船舶電装士の取得年月から起算して当該年（平成30年度）を含んだ船舶電気装備工事の経験年数を記入して下さい。

検定試験も同時に申し込む場合

※ 検定試験は、会員の事業場に所属する方だけが申し込むことができます。

- (14) 「主任船舶電装士検定試験を申し込む」欄に○印をつけて下さい。
- (15) 「受験希望地」欄に記載されている実施予定地のうち、1つを選んで○で囲んで下さい。

顔写真について

※ 非会員は顔写真を貼付する必要はありません。

- (A) 枚数について
顔写真は、講習用に1枚・検定試験用に1枚（検定試験を申し込む場合のみ）の合計2枚が必要です。
本年度に他の種類の講習や検定試験を申し込む場合、講習や検定試験の種類ごとに顔写真を用意する必要はありません。必要な顔写真の枚数は、1人につき最多で2枚です。
- (B) 写真について
上半身・正面・脱帽にて撮影したものを使用して下さい。スピード写真可、白黒・カラーは不問です。
撮影画像をプリンター等で印刷したものを使用する場合は、紙の厚さが0.1ミリ以下のものは避け、なるべく写真専用の光沢用紙を使用して下さい。
- (C) その他
顔写真は、所定の大きさ（縦4cm、横3cm）に切り揃えて、貼り付ける前に裏面に本人氏名を記入して下さい。
「顔写真貼付欄」の所定の箇所にのりづけします。のりは写真の上端にだけ付けて下さい。

様式 1.3

※ 受講番号

※ 受験番号

| | | | | | | |
|--|-----------------------|---|------|-------|---------------------|-----------------------|
| 上級（管理者）講習 受講申込書（兼 検定試験受験願書） | | | | | | |
| 平成 年 月 日 | | | | | | |
| 申 込 者 | ふりがな | | 生年月日 | 年 月 日 | | |
| | 本人氏名 | 印 | 役職名 | | | |
| | (所属事業場名) | | | | | |
| | (代表者名) | 印 | | | | |
| (所在地) | | | | | | |
| (連絡担当者) (電話番号) | | | | | | |
| 技能手帳の有無・手帳番号 | | 有（手帳番号 S）・無 | | | | |
| 陸上電気関係の保有資格の名称 | | 取得年月 年 月 | | | | |
| 主任船舶電装士の取得年月 | | 年 月 | | | | |
| 船舶電気装備工事に 関する監督業務の経歴 | 役職名（又は職務内容） | 就任年月 | 在任期間 | | | |
| | | 年 月 | 年 月 | | | |
| | (現職) | 年 月 | 年 月 | | | |
| [会員のみのみ] 同時に検定試験も申し込む方は、下記 □に○印を付け、受験希望地をご記入下さい。 | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 船舶電装管理者検定試験を申し込む | | | | | | |
| 受験希望地 (一ヶ所を○で囲んで下さい) | | 札幌・仙台・東京・大阪・広島・高松・福岡 | | | | |
| 顔写真貼付欄 (非会員は貼付不要) | | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;"> 上端のりづけ [講習用] </td> <td style="width: 50%; text-align: center;"> 上端のりづけ [検定試験用] </td> </tr> </table> | | | 上端のりづけ [講習用] | 上端のりづけ [検定試験用] |
| 上端のりづけ [講習用] | 上端のりづけ [検定試験用] | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 申込み前6ヶ月以内に上半身・正面・脱帽にて撮影したもの（縦4cm・横3cm） ・ 写真の裏面に氏名を記入して下さい | | ※ 顔写真は講習用・検定試験用に各1枚（計2枚）を貼付して下さい。 | | | | |
| 受講料及び受験料 (金額は消費税込み) | | 受講のみの方 : 12,300円 (非会員は24,700円) 受講及び検定試験の方 : 17,400円 別途送金の場合 : 送金予定日 月 日 (銀行振込・郵便振替) | | | | |

この「申込書」にご記入いただいた個人情報は厳重に管理取扱いを行い、船舶電気装備技術者の資格の運用に関する用途以外には一切使用いたしません。

記載要領

- (1) 「本人氏名」「ふりがな」欄には、受講・受験者本人の氏名を記入し、押印をして下さい。
- (2) 「生年月日」欄には、和暦（昭和・平成）の年月日を記入して下さい。
- (3) 「役職名」欄には、申込日現在の本人の役職名を記入して下さい。
- (4) 「所属事業場名」欄は、本人が所属している事業場の名称（会社名・必要に応じて支店営業所名）を記入して下さい。これが本人が資格を取得した際の所属事業場となりますから、複数の支店営業所等がある場合には特に注意して記入して下さい。
- (5) 「代表者名」欄は、所属事業場の代表者もしくは責任者の役職名と氏名を記入し、押印をして下さい。
- (6) 「所在地」欄には、所属事業場の所在地を都道府県名から記入して下さい。
- (7) 「連絡担当者」欄には、この申し込みについて回答できる人の氏名を記入して下さい。
- (8) 「電話番号」欄には、連絡担当者の電話番号を市外局番から記入し、必要に応じて内線番号等を記入して下さい。
- (9) 「技能手帳の有無・手帳番号」欄には、技能手帳の有無（本人が過去に当協会の技能手帳を交付されているかどうか）を○で囲み、[有]の場合は技能手帳の番号（技能手帳に記載されている『S』で始まる番号）を記入して下さい。
- (10) 「陸上電気関係の保有資格の名称」欄には、保有している陸上電気関係の資格の名称と、取得年月を記入して下さい。詳細は募集案内の[受講・受験資格について]を参照して下さい。
- (11) 「主任船舶電装士の取得年月」欄には、資格を取得した年月を記入して下さい。
- (12) 「船舶電気装備工事に関する監督業務の経歴」欄には、該当する業務について役職名・就任年月・及び在任期間を記入して下さい。在任期間は当該年（平成30年度）を含んだ年月を記入して下さい。監督業務の定義は、募集案内の[受講・受験資格について]を参照して下さい。

検定試験も同時に申し込む場合

※ 検定試験は、会員の事業場に所属する方だけが申し込むことができます。

- (13) 「船舶電装管理者検定試験を申し込む」欄に○印をつけて下さい。
- (14) 「受験希望地」欄に記載されている実施予定地のうち、1つを選んで○で囲んで下さい。

顔写真について

※ 非会員は顔写真を貼付する必要はありません。

- (A) 枚数について
顔写真は、講習用に1枚・検定試験用に1枚（検定試験を申し込む場合のみ）の合計2枚が必要です。
本年度に他の種類の講習や検定試験を申し込む場合、講習や検定試験の種類ごとに顔写真を用意する必要はありません。必要な顔写真の枚数は、1人につき最多で2枚です。
- (B) 写真について
上半身・正面・脱帽にて撮影したものを使用して下さい。スピード写真可、白黒・カラーは不問です。
撮影画像をプリンター等で印刷したものを使用する場合は、紙の厚さが0.1ミリ以下のものは避け、なるべく写真専用の光沢用紙を使用して下さい。
- (C) その他
顔写真は、所定の大きさ（縦4cm、横3cm）に切り揃えて、貼り付ける前に裏面に本人氏名を記入して下さい。
「顔写真貼付欄」の所定の箇所にのりづけします。のりは写真の上端にだけ付けて下さい。

様式 1.4

※ 受講番号

※ 受験番号

| 航海用レーダー等講習 受講申込書 (兼 検定試験受験願書) | | | | |
|--|----------|--|-----------------|-------|
| 平成 年 月 日 | | | | |
| 申 込 者 | ふりがな | | 生年月日 | 年 月 日 |
| | 本人氏名 | 印 | 役職名 | |
| | (所属事業場名) | | | |
| | (代表者名) | 印 | | |
| | (所在地) | | | |
| | (連絡担当者) | (電話番号) | | |
| 技能手帳の有無・手帳番号 | | 有 (手帳番号 S) ・ 無 | | |
| 学 歴 | 卒業学校名 | 学 部 | 学 科 | 卒業年月 |
| | | | | 年 月 |
| 保 有 資 格 | 資格の名称 | 取得年月 | 資格の名称 | 取得年月 |
| | | 年 月 | | 年 月 |
| | | 年 月 | | 年 月 |
| 航海用レーダー等の整備の経験年数 | | (平成31年4月1日現在) 年 | メーカー研修の 受講経験 | 有・無 |
| [会員のみのみ] 同時に検定試験も申し込む方は、下記 □に○印を付け、受験希望地をご記入下さい。 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 航海用レーダー整備士検定試験を申し込む | | | | |
| 受験希望地 (一ヶ所を○で囲んで下さい) | | 札幌 ・ 仙台 ・ 東京 ・ 大阪 ・ 広島 ・ 高松 ・ 福岡 | | |
| 顔写真貼付欄 (非会員は貼付不要) | | <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px; text-align: center;"> 上端のりづけ [講習用] </div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px; text-align: center;"> 上端のりづけ [検定試験用] </div> </div> | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 申込み前6ヶ月以内に上半身・正面・脱帽にて撮影したもの(縦4cm・横3cm) ・ 写真の裏面に氏名を記入して下さい | | ※ 顔写真は講習用・検定試験用に各1枚(計2枚)を貼付して下さい。 | | |
| 受講料及び受験料 (金額は消費税込み) | | 受講のみの方 : 12,300円 (非会員は24,700円) 受講及び検定試験の方 : 17,400円 別途送金の場合 : 送金予定日 月 日 (銀行振込・郵便振替) | | |

この「申込書」にご記入いただいた個人情報厳重に管理取扱いを行い、船舶電気装備技術者の資格の運用に関する用途以外には一切使用いたしません。

記載要領

- (1) 「本人氏名」「ふりがな」欄には、受講・受験者本人の氏名を記入し、押印をして下さい。
- (2) 「生年月日」欄には、和暦（昭和・平成）の年月日を記入して下さい。
- (3) 「役職名」欄には、申込日現在の本人の役職名を記入して下さい。
- (4) 「所属事業場名」欄は、本人が所属している事業場の名称（会社名・必要に応じて支店営業所名）を記入して下さい。これが本人が資格を取得した際の所属事業場となりますから、複数の支店営業所等がある場合には特に注意して記入して下さい。
- (5) 「代表者名」欄は、所属事業場の代表者もしくは責任者の役職名と氏名を記入し、押印をして下さい。
- (6) 「所在地」欄には、所属事業場の所在地を都道府県名から記入して下さい。
- (7) 「連絡担当者」欄には、この申し込みについて回答できる人の氏名を記入して下さい。
- (8) 「電話番号」欄には、連絡担当者の電話番号を市外局番から記入し、必要に応じて内線番号等を記入して下さい。
- (9) 「技能手帳の有無・手帳番号」欄には、技能手帳の有無（本人が過去に当協会の技能手帳を交付されているかどうか）を○で囲み、[有]の場合は技能手帳の番号（技能手帳に記載されている『S』で始まる番号）を記入して下さい。
- (10) 「学歴」欄には、原則として最終学歴（卒業学校名・学部名・学科名・卒業年月）を記入して下さい。
受講・受験資格に必要な経験年数の算定に係る学歴が別にある場合には、その学歴も記入して下さい。詳細は募集案内の[受講・受験資格について]を参照して下さい。
例：最終学歴は『大学の文系学部卒業』だが高等学校が『工業高校電子工学科卒業』である場合は、両方とも記入して下さい。
- (11) 「保有資格」欄には、保有している無線・通信関係の資格の名称と、取得年月を記入して下さい。詳細は募集案内の[受講・受験資格について]を参照して下さい。
- (12) 「航海用レーダー等の整備の経験年数」欄には、当該年（平成30年度）を含んだ整備工事の経験年数を記入して下さい。
- (13) 「メーカー研修の受講経験」欄には、その有無を○印で囲んで下さい。

検定試験も同時に申し込む場合

※ 検定試験は、会員の事業場に所属する方だけが申し込むことができます。

- (14) 「航海用レーダー整備士検定試験を申し込む」欄に○印をつけて下さい。
- (15) 「受験希望地」欄に記載されている実施予定地のうち、1つを選んで○で囲んで下さい。

顔写真について

※ 非会員は顔写真を貼付する必要はありません。

- (A) 枚数について
顔写真は、講習用に1枚・検定試験用に1枚（検定試験を申し込む場合のみ）の合計2枚が必要です。
本年度に他の種類の講習や検定試験を申し込む場合、講習や検定試験の種類ごとに顔写真を用意する必要はありません。必要な顔写真の枚数は、1人につき最多で2枚です。
- (B) 写真について
上半身・正面・脱帽にて撮影したものを使用して下さい。スピード写真可、白黒・カラーは不問です。
撮影画像をプリンター等で印刷したものを使用する場合は、紙の厚さが0.1ミリ以下のものは避け、なるべく写真専用の光沢用紙を使用して下さい。
- (C) その他
顔写真は、所定の大きさ（縦4cm、横3cm）に切り揃えて、貼り付ける前に裏面に本人氏名を記入して下さい。
「顔写真貼付欄」の所定の箇所にのりづけします。のりは写真の上端にだけ付けて下さい。

様式 1.5

※ 受講番号

※ 受験番号

| 無線設備講習 受講申込書 (兼 検定試験受験願書) | | | | |
|--|---|----------------------------------|-----------------|-------|
| 平成 年 月 日 | | | | |
| 申 込 者 | ふりがな | | 生年月日 | 年 月 日 |
| | 本人氏名 | 印 | 役職名 | |
| | (所属事業場名) | | | |
| | (代表者名) 印 | | | |
| (所在地) | | | | |
| (連絡担当者) (電話番号) | | | | |
| 技能手帳の有無・手帳番号 | | 有 (手帳番号 S) ・ 無 | | |
| 学 歴 | 卒業学校名 | 学 部 | 学 科 | 卒業年月 |
| | | | | 年 月 |
| 保 有 資 格 | 資格の名称 | 取得年月 | 資格の名称 | 取得年月 |
| | | 年 月 | | 年 月 |
| | | 年 月 | | 年 月 |
| 無線設備等の整備の経験年数 | | (平成31年4月1日現在) 年 | メーカー研修の 受講経験 | 有・無 |
| [会員のみのみ] 同時に検定試験も申し込む方は、下記 □に○印を付け、受験希望地をご記入下さい。 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 航海用無線設備整備士検定試験を申し込む | | | | |
| 受験希望地 (一ヶ所を○で囲んで下さい) | | 札幌 ・ 仙台 ・ 東京 ・ 大阪 ・ 広島 ・ 高松 ・ 福岡 | | |
| 顔写真貼付欄 (非会員は貼付不要) | 上端のりづけ | | | |
| ・ 申込み前6ヶ月以内に上半身・正面・脱帽にて撮影したもの(縦4cm・横3cm) ・ 写真の裏面に氏名を記入して下さい | [講習用] | | [検定試験用] | |
| | ※ 顔写真は講習用・検定試験用に各1枚(計2枚)を貼付して下さい。 | | | |
| 受講料及び受験料 (金額は消費税込み) | 受講のみの方 : 12,300円 (非会員は24,700円) 受講及び検定試験の方 : 17,400円 別途送金の場合 : 送金予定日 月 日 (銀行振込・郵便振替) | | | |

この「申込書」にご記入いただいた個人情報は厳重に管理取扱いを行い、船舶電気装備技術者の資格の運用に関する用途以外には一切使用いたしません。

記載要領

- (1) 「本人氏名」「ふりがな」欄には、受講・受験者本人の氏名を記入し、押印をして下さい。
- (2) 「生年月日」欄には、和暦（昭和・平成）の年月日を記入して下さい。
- (3) 「役職名」欄には、申込日現在の本人の役職名を記入して下さい。
- (4) 「所属事業場名」欄は、本人が所属している事業場の名称（会社名・必要に応じて支店営業所名）を記入して下さい。これが本人が資格を取得した際の所属事業場となりますから、複数の支店営業所等がある場合には特に注意して記入して下さい。
- (5) 「代表者名」欄は、所属事業場の代表者もしくは責任者の役職名と氏名を記入し、押印をして下さい。
- (6) 「所在地」欄には、所属事業場の所在地を都道府県名から記入して下さい。
- (7) 「連絡担当者」欄には、この申し込みについて回答できる人の氏名を記入して下さい。
- (8) 「電話番号」欄には、連絡担当者の電話番号を市外局番から記入し、必要に応じて内線番号等を記入して下さい。
- (9) 「技能手帳の有無・手帳番号」欄には、技能手帳の有無（本人が過去に当協会の技能手帳を交付されているかどうか）を○で囲み、[有]の場合は技能手帳の番号（技能手帳に記載されている『S』で始まる番号）を記入して下さい。
- (10) 「学歴」欄には、原則として最終学歴（卒業学校名・学部名・学科名・卒業年月）を記入して下さい。
受講・受験資格に必要な経験年数の算定に係る学歴が別にある場合には、その学歴も記入して下さい。詳細は募集案内の[受講・受験資格について]を参照して下さい。
例：最終学歴は『大学の文系学部卒業』だが高等学校が『工業高校電子工学科卒業』である場合は、両方とも記入して下さい。
- (11) 「保有資格」欄には、保有している無線・通信関係の資格の名称と、取得年月を記入して下さい。詳細は募集案内の[受講・受験資格について]を参照して下さい。
- (12) 「無線設備等の整備の経験年数」欄には、当該年（平成30年度）を含んだ整備工事の経験年数を記入して下さい。
- (13) 「メーカー研修の受講経験」欄には、その有無を○印で囲んで下さい。

検定試験も同時に申し込む場合

※ 検定試験は、会員の事業場に所属する方だけが申し込むことができます。

- (14) 「航海用無線設備整備士検定試験を申し込む」欄に○印をつけて下さい。
- (15) 「受験希望地」欄に記載されている実施予定地のうち、1つを選んで○で囲んで下さい。

顔写真について

※ 非会員は顔写真を貼付する必要はありません。

- (A) 枚数について
顔写真は、講習用に1枚・検定試験用に1枚（検定試験を申し込む場合のみ）の合計2枚が必要です。
本年度に他の種類の講習や検定試験を申し込む場合、講習や検定試験の種類ごとに顔写真を用意する必要はありません。必要な顔写真の枚数は、1人につき最多で2枚です。
- (B) 写真について
上半身・正面・脱帽にて撮影したものを使用して下さい。スピード写真可、白黒・カラーは不問です。
撮影画像をプリンター等で印刷したものを使用する場合は、紙の厚さが0.1ミリ以下のものは避け、なるべく写真専用の光沢用紙を使用して下さい。
- (C) その他
顔写真は、所定の大きさ（縦4cm、横3cm）に切り揃えて、貼り付ける前に裏面に本人氏名を記入して下さい。
「顔写真貼付欄」の所定の箇所にのりづけします。のりは写真の上端にだけ付けて下さい。

記載要領

- この受験願書は、講習を申し込まずに検定試験だけを単独で申し込む方だけが使用して下さい。
 - 講習も申し込む方は、講習・検定試験共通の申込書を使用して下さい。
 - 1人で複数の検定試験を申し込む場合は、検定試験の種類ごとに提出して下さい。
- (1) 「本人氏名」「ふりがな」欄には、受験者本人の氏名を記入し、押印をして下さい。
 - (2) 「生年月日」欄には、和暦（昭和・平成）の年月日を記入して下さい。
 - (3) 「役職名」欄には、申込日現在の本人の役職名を記入して下さい。
 - (4) 「所属事業場名」欄は、本人が所属している事業場の名称（会社名・必要に応じて支店営業所名）を記入して下さい。これが本人が資格を取得した際の所属事業場となりますから、複数の支店営業所等がある場合には特に注意して記入して下さい。
 - (5) 「代表者名」欄は、所属事業場の代表者もしくは責任者の役職名と氏名を記入し、押印をして下さい。
 - (6) 「所在地」欄には、所属事業場の所在地を都道府県名から記入して下さい。
 - (7) 「連絡担当者」欄には、この申し込みについて回答できる人の氏名を記入して下さい。
 - (8) 「電話番号」欄には、連絡担当者の電話番号を市外局番から記入し、必要に応じて内線番号等を記入して下さい。
 - (9) 「技能手帳の有無・手帳番号」欄には、技能手帳の有無（本人が過去に当協会の技能手帳を交付されているかどうか）を○で囲み、[有]の場合は技能手帳の番号（技能手帳に記載されている『S』で始まる番号）を記入して下さい。
 - (10) 「申し込む検定試験の種類」欄には、検定試験の種類を1つ選んで○で囲んで下さい。
 - (11) 「受講履歴」欄には、申し込む検定試験に対応する講習について、講習名1つを○で囲み、その修了又は修了見込み年度を記入して下さい。
 - (12) 「受験希望地」欄に記載されている実施予定地のうち、1つを選んで○で囲んで下さい。

顔写真について

(A) 枚数について

検定試験用の顔写真は、1人につき1枚が必要です。

本年度に他の検定試験を申し込む場合、これを含めて1枚だけが必要です。ただし講習を申し込む場合は、講習用にもう1枚が必要です。

複数申し込みの方でも、種類ごとに顔写真を用意する必要はありません。必要な顔写真の枚数は、1人につき（講習の分を含め）最多で2枚です。

(B) 写真について

上半身・正面・脱帽にて撮影したものを使用して下さい。スピード写真可、白黒・カラーは不問です。

撮影画像をプリンター等で印刷したものを使用する場合は、紙の厚さが0.1ミリ以下のものは避け、なるべく写真専用の光沢用紙を使用して下さい。

(C) その他

顔写真は、所定の大きさ（縦4cm、横3cm）に切り揃えて、貼り付ける前に裏面に本人氏名を記入して下さい。

「顔写真貼付欄」の所定の箇所にのりつけします。のりは写真の上端にだけ付けて下さい。